



## 2026年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年1月13日

上場取引所 東

上場会社名 カネ美食品株式会社

コード番号 2669 URL <https://www.kanemi-foods.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今井 善広

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 大谷 浩一郎 TEL 052-879-6111

配当支払開始予定日 一

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年2月期第3四半期の業績 (2025年3月1日～2025年11月30日)

(1) 経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期第3四半期	64,142	△5.3	1,726	△32.9	1,801	△30.9	1,183	△30.1
2025年2月期第3四半期	67,782	5.0	2,572	6.2	2,610	5.9	1,694	8.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期第3四半期	123.28	—
2025年2月期第3四半期	175.13	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年2月期第3四半期	37,917	29,173	76.9	3,081.73
2025年2月期	37,408	29,083	77.7	3,005.61

(参考) 自己資本 2026年2月期第3四半期 29,173百万円 2025年2月期 29,083百万円

(注) 株主資本に自己株式として計上されている「株式給付信託（BBT）」に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式（2025年2月期第3四半期 1,835株、2026年2月期第3四半期 945株）に、1株当たり純資産金額の算定上、期末発行済株式数から控除する自己株式（2025年2月期 1,132株、2026年2月期第3四半期 810株）にそれぞれ含めております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年2月期	円 銭 —	円 銭 19.00	円 銭 —	円 銭 19.00	円 銭 38.00
2026年2月期	円 銭 —	円 銭 19.00	円 銭 —	円 銭 19.00	円 銭 38.00
2026年2月期(予想)				19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年2月期の業績予想 (2025年3月1日～2026年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	87,400	△3.4	3,080	0.0	3,110	0.0	1,750	△10.1	180.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年2月期3Q	10,000,000株	2025年2月期	10,000,000株
② 期末自己株式数	2026年2月期3Q	533,392株	2025年2月期	323,494株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年2月期3Q	9,599,470株	2025年2月期3Q	9,675,885株

（注）株主資本に自己株式として計上されている「株式給付信託（B BT）」に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式（2025年2月期3Q 1,835株、2026年2月期3Q 945株）に含めております。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、経営環境の変化など様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提条件及びその他に関する事項については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	6
(セグメント情報等の注記) .....	7
3. 主要な経営指標等の推移 .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、堅調な企業業績に基づく株価上昇や新政権誕生による政治の安定化と景気浮揚策への期待もあり、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、米国の関税措置による輸出減退リスクや日中関係が経済に与える影響、物価上昇の継続による消費マインドの冷え込み懸念等、依然として不透明な状況が続きました。

当業界においては、原材料価格や人件費の上昇に加え、物価高による節約志向が継続しており、引き続き厳しい環境となりました。

このような中、今期より掲げているパーカス「“おいしさ”で、こころを動かす。」、ビジョン「わたしたちは、惣菜で暮らしの満足度を高める最良のパートナーになる。」を推進し、安全安心な“おいしい”商品のご提供はもとより、新しい商品カテゴリーの導入や新しいコンセプト展開に取り組み、事業拡大の推進に努めてまいりました。

報告セグメントの経営成績は、以下のとおりであります。

#### ① テナント事業

テナント事業においては、買い物が楽しく、ワクワクする「今日、何食べよう」と思わず足を止めたくなるような魅力ある買い物場をコンセプトに改装を行いました。また、新たなカテゴリー商品を展開し、販促強化を推し進めることで、売上高の増加と店舗運営の効率化に取り組んでまいりました。

これらの結果、テナント事業全体の売上高は前年同期間に比べ3.5%増収の346億96百万円となりました。また、利益面においては、将来を見据えたブランド力・商品力の強化を図るため、戦略的に必要な支出や改装店舗に係る初期費用の増加等もありましたが、セグメント利益は前年同期間に比べ29.9%増益の18億57百万円となりました。

#### ② 外販事業

外販事業においては、政策的な生産調整により前年同期間と比較して売上高が減収となりましたが、PPIHグループ店舗での惣菜強化への取り組み、增量セールへの参画、「偏愛めし」ブランド2周年セール等の販売促進企画が実施されたことなどにより納品量が増加したことに加え、鉄道系コンビニエンスストアへの納品や生協向けの夕食宅配弁当が堅調に推移いたしました。

これらの結果、外販事業の売上高は前年同期間に比べ14.1%減収の294億46百万円となり、利益面では売上の減少に加えて、政策的な生産体制の見直しに伴う一時的なコスト増加の影響もあり、1億31百万円のセグメント損失（前年同期間は11億43百万円のセグメント利益）となりました。

当第3四半期累計期間においてセグメント損失となっておりますが、一巡した生産調整も落ち着きを見せ始めたことで2025年9月～2025年11月の会計期間においては黒字に転換しております。

以上の要因により、当第3四半期累計期間の売上高は前年同期間と比べ5.3%減収の641億42百万円となりました。経常利益については前年同期間と比べ30.9%減益の18億1百万円、四半期純利益については前年同期間と比べ30.1%減益の11億83百万円となりました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ5億9百万円増加して379億17百万円となりました。

この主な要因は、売掛金が18億77百万円、有形固定資産が3億14百万円それぞれ増加した一方で、現金及び預金が17億59百万円減少したことなどによります。

負債は、前事業年度末に比べ4億19百万円増加して87億44百万円となりました。

この主な要因は、賞与引当金が3億4百万円増加したことなどによります。

純資産は、前事業年度末に比べ89百万円増加して291億73百万円となりました。

この主な要因は、利益剰余金が8億19百万円増加した一方で、自己株式の取得により7億6百万円、その他有価証券評価差額金の差益が23百万円それぞれ減少したことなどによります。

これらにより当第3四半期会計期間末の自己資本比率は、前事業年度末の77.7%から76.9%となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年4月11日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2025年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金及び預金	18,925,579	17,166,190
売掛金	5,500,007	7,377,146
製品	2,187	15,772
仕掛品	10,934	17,400
原材料及び貯蔵品	492,200	501,669
前払費用	91,335	138,311
未収入金	43,293	27,403
テナント預け金	129,296	200,012
その他	210,680	13,154
流动資産合計	25,405,516	25,457,062
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,586,439	3,945,606
構築物（純額）	212,700	287,269
機械及び装置（純額）	2,195,902	2,567,428
車両運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品（純額）	493,155	468,350
土地	2,887,081	2,887,081
リース資産（純額）	84,361	55,533
建設仮勘定	599,136	162,284
有形固定資産合計	10,058,776	10,373,554
無形固定資産		
ソフトウェア	57,312	56,751
ソフトウェア仮勘定	330	2,306
無形固定資産合計	57,642	59,057
投資その他の資産		
投資有価証券	594,647	552,134
出資金	2,030	2,030
長期前払費用	100,507	95,860
前払年金費用	520,576	686,439
繰延税金資産	304,997	322,842
差入保証金	363,914	368,770
投資その他の資産合計	1,886,673	2,028,076
固定資産合計	12,003,092	12,460,688
<b>資産合計</b>	<b>37,408,608</b>	<b>37,917,751</b>

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2025年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,336,457	3,623,747
未払金	1,631,120	1,357,966
未払費用	1,431,785	1,687,392
未払法人税等	584,500	272,000
未払消費税等	317,099	301,250
賞与引当金	581,800	886,300
役員賞与引当金	13,000	12,000
役員株式給付引当金	1,000	3,200
資産除去債務	2,076	—
その他	57,129	231,711
流動負債合計	7,955,969	8,375,567
固定負債		
リース債務	13,064	9,784
長期未払金	1,306	978
資産除去債務	349,327	352,897
長期預り保証金	5,028	4,988
その他	74	36
固定負債合計	368,800	368,685
<b>負債合計</b>	<b>8,324,769</b>	<b>8,744,253</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,002,262	2,002,262
資本剰余金		
資本準備金	2,174,336	2,174,336
その他資本剰余金	3,731	3,731
資本剰余金合計	2,178,068	2,178,068
利益剰余金		
利益準備金	81,045	81,045
その他利益剰余金		
別途積立金	10,300,000	10,300,000
繰越利益剰余金	15,186,151	16,005,801
利益剰余金合計	25,567,196	26,386,847
自己株式		
△996,267	△1,702,522	
株主資本合計	28,751,259	28,864,655
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	332,579	308,842
評価・換算差額等合計	332,579	308,842
<b>純資産合計</b>	<b>29,083,839</b>	<b>29,173,498</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>37,408,608</b>	<b>37,917,751</b>

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
売上高	67,782,566	64,142,761
売上原価	55,690,766	53,168,277
売上総利益	12,091,800	10,974,483
販売費及び一般管理費	9,519,168	9,248,471
営業利益	2,572,632	1,726,012
営業外収益		
受取利息	214	5,537
受取配当金	22,302	29,570
不動産賃貸料	4,577	3,564
雑収入	5,382	—
受取手数料	3,925	27,926
その他	7,947	13,603
営業外収益合計	44,350	80,201
営業外費用		
不動産賃貸原価	532	476
解約違約金	529	2,179
その他	5,226	1,808
営業外費用合計	6,287	4,464
経常利益	2,610,695	1,801,749
特別利益		
固定資産売却益	65	1,663
投資有価証券売却益	—	151,706
特別利益合計	65	153,369
特別損失		
固定資産除却損	17,491	18,372
減損損失	26,528	70,107
特別損失合計	44,020	88,480
税引前四半期純利益	2,566,739	1,866,638
法人税、住民税及び事業税	913,291	703,323
法人税等調整額	△41,041	△20,092
法人税等合計	872,250	683,230
四半期純利益	1,694,489	1,183,408

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりです。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
減価償却費	760,167千円	811,858千円

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期累計期間（自2024年3月1日 至2024年11月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	テナント事業	外販事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	33,497,418	34,285,148	67,782,566	—	67,782,566
その他の収益					
外部顧客への売上高	33,497,418	34,285,148	67,782,566	—	67,782,566
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	2,536,628	2,536,628	△2,536,628	—
計	33,497,418	36,821,776	70,319,195	△2,536,628	67,782,566
セグメント利益	1,428,980	1,143,636	2,572,616	15	2,572,632

(注) 1. セグメント利益の調整額15千円はセグメント間の内部取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「外販事業」において工場資産を減損しております。

なお、当第3四半期累計期間における当該減損損失の計上額は25,752千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第3四半期累計期間（自2025年3月1日 至2025年11月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	テナント事業	外販事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	34,696,113	29,446,647	64,142,761	—	64,142,761
その他の収益					
外部顧客への売上高	34,696,113	29,446,647	64,142,761	—	64,142,761
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	3,939,511	3,939,511	△3,939,511	—
計	34,696,113	33,386,159	68,082,272	△3,939,511	64,142,761
セグメント利益又は損失 (△)	1,857,652	△131,448	1,726,203	△191	1,726,012

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△191千円はセグメント間の内部取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「外販事業」において工場資産を減損しております。

なお、当第3四半期累計期間における当該減損損失の計上額は70,107千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## 3. 主要な経営指標等の推移

回次	第55期 第3四半期 累計期間	第56期 第3四半期 累計期間	第55期
会計期間	自 2024年3月1日 至 2024年11月30日	自 2025年3月1日 至 2025年11月30日	自 2024年3月1日 至 2025年2月28日
売上高 (千円)	67,782,566	64,142,761	90,481,370
経常利益 (千円)	2,610,695	1,801,749	3,108,196
四半期(当期)純利益 (千円)	1,694,489	1,183,408	1,948,085
資本金 (千円)	2,002,262	2,002,262	2,002,262
発行済株式総数 (株)	10,000,000	10,000,000	10,000,000
純資産額 (千円)	28,810,032	29,173,498	29,083,839
総資産額 (千円)	38,351,831	37,917,751	37,408,608
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	175.13	123.28	201.33
1株当たり配当額 (円)	19.0	19.0	38.0
自己資本比率 (%)	75.1	76.9	77.7

(注) 株主資本に自己株式として計上されている「株式給付信託（B B T）」に残存する自社の株式は、1株当たり四半期(当期)純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。